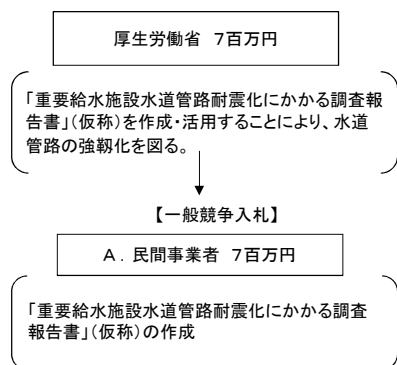


平成27年度行政事業レビューシート (厚生労働省)										
事業名	重要給水施設水道管路強靱化事業			担当部局庁	健康局			作成責任者		
事業開始年度	平成27年度	事業終了(予定)年度	平成28年度	担当課室	水道課			水道課長 宮崎 正信		
会計区分	一般会計			政策・施策名	Ⅱ-2-1 安全で質が高く災害に強い持続的な水道を確保すること					
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	水道法第5条			関係する計画、 通知等	水道施設の技術的基準を定める省令 水道ビジョン					
主要政策・施策				主要経費	その他の事項経費					
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内)	災害時に重要な拠点となる基幹病院や診療所、大規模な緊急避難所等(重要給水施設)に水道水を供給する管路の耐震化、断水した場合の優先的復旧に係る対応について、課題把握をするとともにその技術的対応策について検討し、その結果を各水道事業者における耐震化計画に反映することにより、重要給水施設のソフト・ハード両面での強靱化の推進を図る。									
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	全国の水道事業者における重要給水施設への水道管路の耐震化に係る計画の有無について調査し、現時点で水道施設の重要給水施設を選定している水道事業者を対象に、その選定の考え方や、断水した場合の優先的復旧にかかる対応等について調査を行い、課題把握とその技術的対応策の検討のためのインプットとする。また、事例調査を踏まえ、重要給水施設に至る水道管路の選定上の課題とその解決に向けた技術的対応策について検討書にまとめ周知することで、未だ選定できていない水道事業者の耐震化計画策定作業の進捗を加速させる。									
実施方法	委託・請負									
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求			
		補正予算	-	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-	-			
		計	0	0	0	7	7			
	執行額	-	-	-	-	-				
	執行率 (%)	-	-	-	-	-				
成果目標及び成 果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 34年度			
	当該事業により水道事業者における管路更新を促進させることで、平成34年時点において基幹管路耐震適合率50%の達成を目標とする。	基幹管路の耐震適合率	成果実績	%	-	-	-	-		
			目標値	%	-	-	-	50		
			達成度	%	-	-	-	-		
活動指標及び活 動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込			
	重要給水施設の選定にかかる事例調査件数	活動実績	件	-	-	-	-			
		当初見込み	件	-	-	-	10			
単位当たり コスト	算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込			
	単位当たりコスト = X / Y		単位当たり コスト	百万円/件	-	-	-	0.7		
	X: 執行額 Y: 重要給水施設の選定にかかる事例調査件数		計算式	X/Y	-	-	-	7百万円/10件		
平成27・28年度 予算内訳 (単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由						
	食品等試験検査費	7	7							
	計	7	7							

事業所管部局による点検・改善					
項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	重要給水施設管路の耐震性向上については、全国の水道事業者において早急な取組が必要とされる課題となっているため、広く国民のニーズが高く、国費を投入しなければ事業目的が達成できない。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	重要給水施設管路の耐震性向上は、全国の水道事業者を取り巻く経営環境が厳しさを増すなか、効率的、効果的に進めて行くための指針を定め、一定の方策を基に計画的に行う必要があり、国が実施すべき事業である。		
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	重要給水施設管路の耐震性向上については、全国の水道事業者において早急な取組が必要とされる課題となっているため、優先度が高い事業である。		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-			
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-			
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	-			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-			
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか	-			
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか	-			
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-			
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-			
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
点検・改善結果	点検結果	災害時に重要な拠点となる基幹病院や診療所、大規模な緊急避難所等(重要給水施設)に水道水を供給する管路の耐震化、断水した場合の優先的復旧に係る対応の検討は、重要給水施設のソフト・ハード両面での強靱化の推進に繋がることから重要であり、優先度が高い事業である。			
	改善の方向性	平成27年度新規の事業であり、上記を踏まえ、今後、適切かつ効率的な予算執行に努めることとする。			
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状通り	事業の必要性、効率性及び有効性の観点から、特段問題ない。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状通り	-				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-
平成25年度	-	平成26年度	-		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかにつ
いて補足する)
(単位:百万
円)